



折戸小夜子 (多摩の風)

- 1.災害時の断水対応に簡易トイレを
- 2.歯科口腔保健推進条例の状況は
- 3.学校給食無償化の推進を

問 能登半島地震発生から2か月。未だ断水が解消されない災害時のトイレ事情が深刻だ。数が少ない、不衛生、女性に配慮がない、和式が多い等の課題がある。5年前に認証を受けた工具なしで簡単に組立できる洋式備蓄型、排泄物はバイオ製剤使用で、安全性が高く、能登の避難所でも活用している紙製のトイレがあるが、見解を伺う。

答 職員が能登町に支援物資を搬送した際にトイレ問題を体験している。被災地のトイレは一大事なので、幅広い研究検討を進める。

問 条例施行後、歯と口腔の事業について予防の成果が見える啓発が必要と考えるがいかがか。

答 アンケート調査の結果、かかりつけ歯科医があると回答した人が東京都の調査より低い。定期的な歯科検診や予防推進の数値目標を設定してPDCAを回していきたい。

問 学校給食費の無償化は子育て世帯を支援する重要な対策だ。多摩市でも早急な対応が必要ではないか。

答 東京都から詳細な内容の説明を受け早期に判断する。



避難所で活用されている紙製のトイレ



きりき優 (自民党)

- 1.感染症対策について
- 2.介護福祉サービス基盤整備について
- 3.スポーツ振興について

問 現在新型コロナウイルス感染症だけでなく、季節性インフルエンザ、溶連菌感染症、咽頭結膜熱などの流行も指摘されている。感染症対策の考え方について伺う。

答 基本的な感染症対策が有効。個人が必要性を判断し場面や状況に応じた感染対策を取ることが望ましい。

問 コロナワクチン有料化やHPVワクチン及び風疹ワクチンの接種漏れに対する最終年度の追加対応について伺う。

答 広報やホームページで周知を進めていきたい。

問 介護福祉サービス報酬改定を控え現場の状況を伺う。

答 事業者の負担感を減らしながら移行を支援していく。

問 スポーツ施設整備を民間が担う場合の利用料負担や施設都合による利用機会損失などの懸念について伺う。

答 役割分担によるリスクもあると認識している。

問 スポーツ施設の気候変動対策について伺う。

答 自動販売機、屋根、AEDの設置や検討を進めている。

問 16年ぶりJ1復帰の東京ヴェルディについて伺う。

答 街路灯フラッグを掲出し街全体として応援していく。



上杉ただし (日本共産党)

高齢者でも住み続けられる多摩市へ

問 団地の空き家解消が地域の安全、防犯対策につながっていくと思うが見解を伺う。

答 UR都市機構には公的賃貸住宅管理者として、実情に見合った空き家対応を図って頂きたいと考える。

問 UR賃貸住宅の空き家対策、また家賃の支払いが困難な方のためにも家賃補助を検討できないか見解を伺う。

答 家賃補助を行う考えはないが、住民が安心して居住できるようにUR都市機構と意見交換をしていきたい。

問 東京都から「都営住宅の募集戸数の増加を図る」という発言があったが、現在の多摩市地元割当について伺う。

答 令和4年度の単身者向け住宅の地元割当の総戸数は15戸、応募倍率は6.6倍、シルバーピアの単身者向け住戸は総戸数5戸、倍率は11.6倍となっている。

問 建て替えが進められている都営多摩ニュータウン愛宕団地にはシルバーピアの住戸はつくられるのか伺う。

答 現在予定はない。



大くま真一 (日本共産党)

- 1.市民から遠くなった？ パルテノン多摩を文化・芸術振興の拠点に
- 2.分別厳格化 市民に寄り添う対応を

問 改修後のパルテノン多摩について、「何をやっているかわからない」、「以前よりも遠くなった」という市民の声を耳にするがいかがか。

答 「遠くなった」との声は大変残念。市民が文化・芸術に日常的に触れられる場となるよう働きかけを強める。また、主催事業のみ掲載していた『パルテノン多摩News』にその他の事業についても掲載をするなど改善を予定している。

問 公演や貸館など「稼ぐ」事業を優先し、公共文化施設としての役割がおろそかになっていないか。

答 貸館事業もあり1か月としたオープンスタジオの利用については、展示利用と貸館のバランスについて検討する。文化条例による位置付けを策定中の計画などで具体化する。

問 ペットボトル分別厳格化について、有志や管理組合が肩代わりするなど、市民に大変なご苦勞をいただきながら進められてきた。どう受け止めているか。

答 大変なご苦勞のなかでのご協力に感謝している。

